持ち家に居住している世帯のみ記入してください

17　住宅の建て替え　新築　購入などの別

・建て替えとは　以前にあった持ち家を壊してそこに新築することをいいます

- 建て替えた
- 新築した（建て替えを除く）
- 中古住宅を購入
- 新築の住宅を購入：都市再生機構（UR）・公社など／民間
- 相続・贈与で取得
- その他

18　平成21年1月以降の住宅の増改築　改修工事等

・当てはまるものすべてに記入してください

（ア）住宅の増改築や改修工事等をしましたか

増改築や改修工事等をした：
- 増築・間取りの変更
- 台所・トイレ・浴室・洗面所の改修工事
- 天井・壁・床等の内装の改修工事
- 屋根・外壁等の改修工事
- 壁・柱・基礎等の補強工事
- 窓・壁等の断熱・結露防止工事
- その他の工事

- 東日本大震災による被災箇所の改修工事をした
- 工事していない

（イ）高齢者等のための設備の工事をしましたか

・将来に備えて工事した場合も含めます

工事した：
- 階段や廊下の手すりの設置
- 屋内の段差の解消
- 浴室の工事
- トイレの工事
- その他

- 工事していない

19　平成21年1月以降における住宅の耐震診断の有無

耐震診断をした：
- 耐震性が確保されていた
- 耐震性が確保されていなかった

- 耐震診断をしていない

20　平成21年1月以降における住宅の耐震改修工事の有無

・当てはまるものすべてに記入してください

工事した：
- 壁の新設・補強
- 筋かいの設置
- 基礎の補強
- 金具による補強
- その他

- 工事していない

Ⅳ　現住居の敷地について

21　所有地か　借地かなどの別

・所有地・借地以外とは　アパートや一戸建の借家などで　現住居の敷地の所有権又は借地権がない場合をいいます

- 所有地
- 借地：一般の借地権／定期借地権など
- 所有地・借地以外：一戸建・長屋建（テラスハウスを含む）／その他（アパートなど）

→（24欄へ）

22　敷地面積

・マンションなどの共同住宅や長屋建の場合は　むね全体の敷地ではなく住んでいる住宅の敷地相当分（区分所有分）について書いてください

（小数点以下は四捨五入）　万　千　百　十　一　平方メートル　又は　（小数点以下は四捨五入）　万　千　百　十　一　坪

所有地・借地の場合のみ記入してください

23　取得方法・取得時期等

（ア）だれから買ったり借りたりなどしたのですか

- 国・都道府県・市区町村
- 都市再生機構（UR）・公社など
- 会社などの法人
- 個人
- 相続・贈与
- その他

（イ）いつ買ったり借りたりなどしたのですか

- 平成25年
- 24年
- 23年
- 22年
- 21年
- 18～20年
- 13～17年
- 8～12年
- 3～7年
- 昭和56～平成2年
- 昭和46～55年
- 36～45年
- 26～35年
- 昭和25年以前

Ⅴ　現住居以外の土地の所有について

○あなたの世帯の世帯員（世帯主を含む。）が名義人（共有の場合を含む。）となっている土地について記入してください。

24　現住居以外の土地

（ア）所有していますか

- 所有している →
- 所有していない →（記入おわり）

（イ）土地の種類

・当てはまるものすべてに記入してください
・宅地など（農地・山林以外の土地）には住宅用地や事業用地のほか原野　荒れ地　池沼なども含めます
・農地とは　田　畑　果樹園　牧場として使用している土地をいいます

- 宅地など（農地・山林以外の土地）
- 農地
- 山林

◆ご協力ありがとうございました

別添２

秘　基幹統計調査

平成25年住宅・土地統計調査　調査票甲

平成25年10月1日　総務省統計局

この調査は，統計法に基づき政府が実施する基幹統計調査です。秘密の保護には万全を期していますので，ありのままを記入してください。

○調査票の記入にあたっては，調査票の記入のしかたをよくお読みください。
○記入には黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し，間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
○答えを記入する欄が ○ の場合は，当てはまる ○ を ● のようにぬりつぶしてください。
○答えを数字で記入する欄は，右の例のように，枠からはみださないように，右づめで書いてください。

<数字の記入例1>　1 2 3 4 5 6 7 8 9 0　（たて線1本　すきまをあける　上につきぬける　角をつける　はねない　とじる）

<数字の記入例2>　8 0 2　（右づめで書く）

記入者氏名		電話番号	―　―

（記入内容にわからないことがあった場合の確認にのみ利用いたします）

Ⅰ　あなたの世帯について

この調査票は機械にかけますので　汚さないでください

1　世帯の構成

・ふだん住んでいる人についてもれなく記入してください
・単身赴任　出かせぎなどで　この住居を離れて3か月以上（その見込みを含む）になる人は除きます
・住み込みの家事手伝いも含めます
・住み込みの従業員や下宿人は別の世帯としますので　人員から除きます

（ア）世帯人員の合計　百　十　一　人　（数字は右づめで書いてください）

（イ）各世帯員の男女の別や年齢など

・年齢は　平成25年10月1日現在の満年齢を書いてください
・続き柄は　世帯の家計を主に支える人との続き柄を　右の選択肢の中から選んでその番号を書いてください

		男女の別	年齢	配偶者の有無	続き柄
世帯の家計を主に支える人	1	男　女	百　十　一　歳	あり　なし	1
他の世帯からの送金等により家計を支えている場合はあなたの世帯のうちの一人を代表者としその代表者を世帯の家計を主に支える人としてください	2	男　女	百　十　一　歳	あり　なし	
	3	男　女	百　十　一　歳	あり　なし	
	4	男　女	百　十　一　歳	あり　なし	
	5	男　女	百　十　一　歳	あり　なし	
	6	男　女	百　十　一　歳	あり　なし	
	7	男　女	百　十　一　歳	あり　なし	
	8	男　女	百　十　一　歳	あり　なし	

1　本人（世帯の家計を主に支える人）

［続き柄の選択肢］
2　配偶者
3　子
4　子の配偶者
5　父母
6　配偶者の父母
7　孫
8　祖父母
9　兄弟姉妹
10　他の親族
11　その他

第２面の２欄へ→

＜調査員記入欄（世帯では記入しないでください）＞

世帯の種類

住宅に居住している世帯
- 主世帯
- 同居世帯

住宅以外の建物に居住している世帯
- 会社等の寮・寄宿舎
- 学校等の寮・寄宿舎
- 旅館・宿泊所
- その他の建物

→
- 管理者・家主などの世帯
- 一般の世帯
- 単身者世帯

事務使用欄	調査区番号	建物番号	住宅番号	調査票番号
	―	―		

政府統計

SAMPLE　SAMPLE

2　世帯全員の１年間の収入（税込み）

・ボーナス・残業手当など臨時収入や配当金など財産収入 年金なども含めます
・仕送り金も収入とします
・自営業の場合は　売上高ではなく営業利益を記入してください

100万円未満 ○　100～200万円未満 ○　200～300万円未満 ○　300～400万円未満 ○　400～500万円未満 ○　500～700万円未満 ○　700～1000万円未満 ○　1000～1500万円未満 ○　1500～2000万円未満 ○　2000万円以上 ○

Ⅱ　世帯の家計を主に支える人について

○１欄の(イ)の１に記入した人について記入してください。

3　勤めか　自営かなどの別

・労働者派遣事業所の派遣社員とは労働者派遣法に基づいて派遣されている人をいいます
・パート・アルバイト・その他には契約社員　嘱託なども含めます

雇われている人
- 正規の職員・従業員
  - 会社・団体・公社又は個人 ○
  - 官公庁 ○
- 労働者派遣事業所の派遣社員 ○
- パート・アルバイト・その他 ○

自営業主
- 農林漁業 ○
- 商工その他 ○

無職
- 学生 ○
- その他 ○

（５欄へ）

4　通勤時間（片道）

自宅・住み込み ○　15分未満 ○　15分～30分未満 ○　30分～45分未満 ○　45分～１時間未満 ○　１時間～１時間30分未満 ○　１時間30分～２時間未満 ○　２時間以上 ○

5　子の住んでいる場所

・子の配偶者も子に含めます
・子が2人以上いる場合は最も近くに住んでいる子について記入してください

子はいない ○

子がいる
- 一緒に住んでいる（同じ建物又は敷地内に住んでいる場合も含めます） ○
- 徒歩５分程度の場所に住んでいる ○
- 片道15分未満の場所に住んでいる ○
- 片道１時間未満の場所に住んでいる ○
- 片道１時間以上の場所に住んでいる ○

6　東日本大震災による転居

（ア）東日本大震災により転居しましたか
- 転居しなかった ○
- 転居した ○

（イ）転居の理由は何ですか
- 住宅に住めなくなった ○
- その他 ○

7　現住居への入居時期

・入居してから住居が建て替えられた場合は　建て替え以前の住居について記入してください

平成25年 ○　24年 ○　23年 ○　22年 ○　21年 ○　18～20年 ○　13～17年 ○　8～12年 ○　3～7年 ○　昭和56～平成2年 ○　昭和46～55年 ○　36～45年 ○　26～35年 ○　昭和25年以前 ○

（９欄へ）

8　前住居

（ア）どこに住んでいましたか
・東日本大震災により転居した場合は　震災前の住居について記入してください
・政令指定都市の場合は　区名まで書いてください

- 現住居と同じ市区町村 ○
- 他の市区町村 ○　（左づめ記入）　都道府県 □□□　市郡等 □□□□□□　区町村 □□□□□□
- 外国 ○

（イ）どんな住居に住んでいましたか
・親の持ち家又は親が借りている家に住んでいた場合は「親その他の親族の家」とします

- 民営の賃貸住宅
  - 一戸建・長屋建（テラスハウスを含む） ○
  - 共同住宅 ○
- 都道府県・市区町村営賃貸住宅 ○
- 都市再生機構（UR）・公社などの賃貸住宅 ○
- 給与住宅（社宅・公務員住宅など） ○
- 持ち家
  - 一戸建・長屋建（テラスハウスを含む） ○
  - 共同住宅 ○
- 親その他の親族の家 ○
- 下宿・間借り又は住み込み ○
- 寮・寄宿舎 ○
- その他 ○

（９欄へ）

（ウ）その居住室全体の広さは何畳でしたか
・洋間の場合も畳数に含めます
・食事室兼台所（ダイニング・キッチン）は居住室に含めますが　流しなどの部分を除いた広さが３畳に満たない部分は含めません

その畳数
（小数第１位まで）　□□□．□ 畳
（小数点以下は四捨五入）　又は □□□□ 平方メートル

Ⅲ　現住居について

○同居世帯では，９欄から１１欄を記入した後，２１欄（第４面）に進んでください。

9　居住室

・洋間の場合も畳数に含めます
・食事室兼台所（ダイニング・キッチン）は居住室に含めますが流しなどの部分を除いた広さが３畳に満たない部分は含めません
・同居世帯がある世帯では　同居世帯が使用している室も含めます
・同居世帯では　使用している室数の合計とその畳数を書いてください

室数の合計　□□□ 室　→　その畳数（小数第１位まで）□□□□．□ 畳
（小数点以下は四捨五入）　又は □□□□□ 平方メートル

10　持ち家か　借家かなどの別

- 持ち家 ○　→（１２欄へ）
- 借家
  - 民営の賃貸住宅 ○
  - 都道府県・市区町村営賃貸住宅 ○
  - 都市再生機構（UR）・公社などの賃貸住宅 ○
  - 給与住宅（社宅・公務員住宅など） ○
  - 住宅に間借り ○
- 住宅以外の建物（会社や学校の寄宿舎　旅館・宿泊所など）
  - 賃貸など ○
  - 所有 ○

（２１欄へ）

11　１か月の家賃又は間代及び共益費又は管理費

・無料の場合は「０」円と書いてください

家賃又は間代　□□□□□□□ 円
共益費又は管理費（共用部分の電気料・清掃費など）　□□□□□□ 円

12　床面積

・居住室だけでなく　住宅全体の床面積について書いてください
・アパート・マンションなどの共同住宅の場合は　専用の部分の床面積を「床面積の合計」欄にのみ書いてください
・小数点以下は　四捨五入してください

床面積の合計（延べ面積）　□□□□ 平方メートル　（又は □□□□ 坪）
→　うち１階の床面積　□□□□ 平方メートル　（又は □□□□ 坪）

13　建築の時期（完成の時期）

・建て増しや改修をした場合は　その部分が現住宅の床面積の合計の半分以上であれば　その時期を建築の時期とします

平成25年 ○　24年 ○　23年 ○　22年 ○　21年 ○　18～20年 ○　13～17年 ○　8～12年 ○　3～7年 ○　昭和56～平成2年 ○　昭和46～55年 ○　36～45年 ○　26～35年 ○　昭和25年以前 ○

14　台所の型

・２か所以上ある場合は　あなたの世帯がふだん使用している台所について記入してください
・ワンルームマンションのように居住室が１室だけの住宅で　間仕切りされていない台所（流し）が付いている場合は　「その他」とします

- 独立の台所（K） ○
- 他の用途と兼用の台所
  - 食事室兼用（DK） ○
  - 食事室・居間兼用（LDK・LK） ○
  - その他 ○
- 他の世帯と共用の台所（流し） ○

15　高齢者等のための設備等

・当てはまるものすべてに記入してください

手すりがある
- 玄関 ○
- トイレ ○
- 浴室 ○
- 脱衣所 ○
- 廊下 ○
- 階段 ○
- 居住室 ○
- その他 ○

- またぎやすい高さの浴槽 ○
- 廊下などが車いすで通行可能な幅 ○
- 段差のない屋内 ○
- 道路から玄関まで車いすで通行可能 ○
- これらの設備はない ○

16　省エネルギー設備等

（ア）太陽熱を利用した温水機器等はありますか
- ある ○
- ない ○

（イ）太陽光を利用した発電機器はありますか
- ある ○
- ない ○

（ウ）二重サッシ又は複層ガラスの窓はありますか
- すべての窓にある ○
- 一部の窓にある ○
- ない ○

持ち家の場合は１７欄へ　それ以外の場合は２１欄へ →

SAMPLE
SAMPLE